

進路だより



茨城県立那珂高等学校 進路指導部

平成 29 年度の進路概況について

① 国公立大学 6 名合格

高崎経済大学 経済学部経済学科 (推薦)	釧路公立大学 経済学部経営学科 (推薦)
茨城大学 工学部機械システム工学科	茨城大学 教育学部音楽専修 (過年度)
福島大学 人文社会学類現代教養コース	静岡文化芸術大学 文化政策学部国際文化学科

- ・推薦入試は「自分が勉強したいこと」と「実際の試験の難易度・内容・適性」の両方を見極めながら、先生とよく相談したうえで志望校を選ぶことが大切。一般入試と違って、チャンスは 1 度だから。
- ・もちろんベースとなるのは**学力**。「読む・聞く・見る」を重ねて、その分野における自分の「興味・関心・知識」を日頃から深めておくことが肝要。面接や小論文の練習は、それらの「出口」でしかない。
- ・推薦受験者も一般試験に耐えうる学力をつけないといけないことは、言うまでもない。
- ・学習はセンター試験を標的に。文系も理系も**英語**が重要。あとは得意科目を伸ばせ！

② 過年度の先輩も雪辱を果たした

- ・強い気持ちを持ち続け、不安や孤独にも負けなかった。
- ・初志貫徹！ 現役時からの「第一希望」を貫き続け、見事に合格した。
- ・そういう**強い意志**を持った先輩がいることは、後輩諸君にも力を与えてくれるはず。
- ・今度は君たちが後輩へ自分の姿を見せる番。そうして**那珂高校を、那珂高生をより強く**していって欲しい。



③ 私大合格 81 名！ 一般入試でも私大の中堅校へ合格者が続く

茨城キリスト（看護 4 他/19）、宇都宮共和大学（シティライフ/1）、江戸川（社会/1）、神田外語（外国語/3）、神奈川（法/1）、群馬医療福祉（リハビリ/1）、国際医療福祉（保健医療 2 他/3）、淑徳（コミュニティ/1）、城西国際（メディア/1）、大東文化大（文/2）、千葉科学（危機管理/1）、千葉商科（商/1）、つくば国際（医療保健/5）、桐蔭横浜（スポーツ健康/1）、東京理科（理Ⅱ/1）、常磐（看護 4 他/33）、独協（法/1）、日本体育（スポーツマネジメント/1）、文化学園（服飾/1）、平成国際（スポーツ健康/1）、明海（外国語/1）、流通経済（流通情報/1）

- ・29 年度の 3 年生は、始めから一般試験勝負で勉強を頑張る生徒が少なからずいた。
- ・自分の力でやりきろうとする**強い意志**を持った生徒が多かった。
- ・ちゃんとした勉強をしていれば学力は**秋から冬**に伸びる。彼らの合格した時の喜びは大きかった！

④ 公務員試験 6 名合格

茨城県警察（3 名）、東京消防庁（1 名）、常陸大宮市消防（1 名）、自衛官候補生（1 名）

- ・東京消防庁には 2 年連続の合格！（倍率＝28 年度 18.5 倍、29 年度 20 倍）
- ・警察官や消防官など、損得抜きで**人のために尽くす**仕事は、那珂高生の気質にも合っている。
- ・先輩たちは部活動をやりながらも、早い時期から試験の内容をよく調べ、対策を立てていた。
- ・勉強の量は言うまでもない！ 生半可な気持ちや、人並みの勉強で受かる試験ではない！

⑤ 民間企業内定率 100%

JR 東日本(プロフェッショナル)、水戸京成百貨店（販売）、水戸プラザホテル（サービス）、ひたちなか母と子の病院（事務）、日本産業(日立グループ・事務)、せき（事務）、大洗海岸病院（事務）など

- ・合格した先輩たちは、企業研究をよく行っただけで「入社したい」という**強い意志**を生み出していった。
- ・もちろん、SPI 試験などの対策もしています。面接練習だけでは受からないこともありますよ。
- ・そもそも仕事は第一義的に自分のためではなく、**人のため**にするもの。
- ・「この仕事を通して社会やお客様の役に立ちたい」という気持ちを根底に持ってください。これは就職試験の時だけでなく、その後もずっとです。